

ネオライスグレーダー

NVG 45V(5)

取扱説明書



株式会社 **サマケ**

安全標示について

ご使用のまえに、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、標示で区分して説明しています。
安全標示の種類と意味は以下の通りです。

安全標示が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

安全標示	意 味
 危 険	この標示に従わなかった場合、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険がある内容を示しています。
 警 告	この標示に従わなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注 意	この標示に従わなかった場合、人がケガを負う可能性がある内容を示しています。

その他の標示	意 味
<u>取扱注意</u>	この標示に従わなかった場合、製品の損傷や故障、または原料の損傷が生じる可能性がある内容を示しています。
<u>補 足</u>	使用上役立つ補足説明を示します。

重要なお知らせ



- この取扱説明書を読み、理解するまでは、操作および保守・点検を行わないでください。
- 本製品の操作および保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。
いつでも調べられるように、この取扱説明書を本製品の近くに大切に保管してください。

- 疑問点または不明な箇所があれば、お買い上げの販売店・JAまたは、巻末の「**緊急時の連絡先**」に問い合わせて回答を得るまで、作業を進めないでください。
- この取扱説明書に従わなかったために、あるいは誤用や無断改造がなされたために、ケガを負ったり損害が発生したりしても、株式会社サタケおよび販売店・JAは一切その責任を負いません。

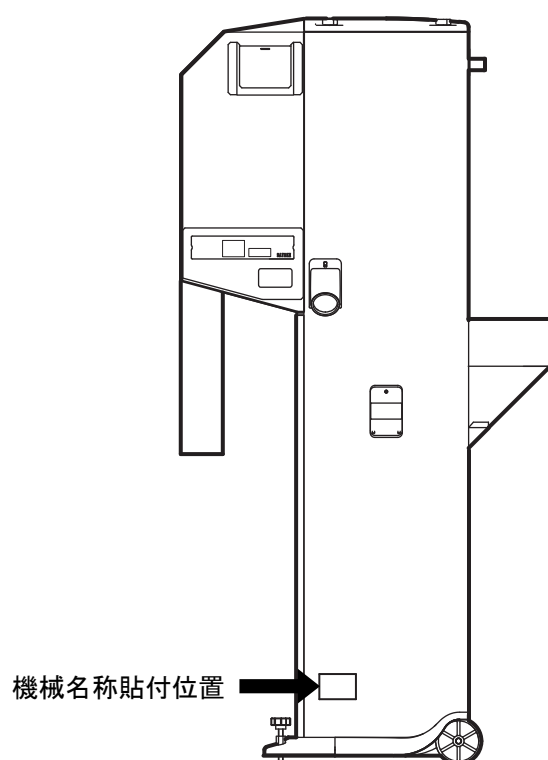
1. 近年、産業機械には、新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。

本製品の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。

そのため、この取扱説明書の記載および機械本体に標示している事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。

したがって、機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載および機械本体に標示している事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。

2. この取扱説明書について、質問やより詳しい情報が必要な場合は、お買い上げの販売店・JAまたは、巻末の「緊急時の連絡先」にお問い合わせください。
3. この取扱説明書において、ページの「乱丁」や「落丁」などがあった場合は、お取り替えいたします。お手数ですが、お買い上げの販売店またはJAまでご連絡ください。
なお、その際は機械名称も併せてご連絡ください。



保証の限定

本製品は厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。

正常なご使用状態において故障した場合には、納入日より１年間無料で修理いたします。

＜保証事項＞

1. 取扱説明書、本体標示ラベルに従った使用により機械が保証期間内に故障した場合には、保証書をご持参ご提示の上お買い上げの販売店またはＪＡに修理をご依頼ください。
ただし、保証書のご提示なき場合、消耗部品およびその交換費用は保証期間内でも有償となります。
2. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
3. 無料修理期間中でも、**次の場合は有料修理になります。**
 - (1) 誤った使用方法、あるいは取扱上の不注意によって生じた損傷および故障。
 - (2) 不当な修理や改造によって生じた損傷および故障。
 - (3) 火災、公害、塩害、異常電圧などの外部要因、地震、雷、風水害などの天変地異によって生じた損傷および故障。
 - (4) 一度据え付けた後の移動、落下により生じた損傷および故障。
 - (5) 弊社純正部品以外の使用、お買い上げの販売店・ＪＡまたはその指定サービス工場以外での修理による故障。
 - (6) 保証書の紛失、保証書の記入事項または字句を勝手に訂正された場合。
 - (7) 木切れや石などの異物が機械内に入って生じた損傷および故障。

＜免責事項＞

1. 上記（１）から（７）の場合、保証期間内外を問わず、これにより生じる直接および間接損害、その他一切の損害については、何ら責任はないものといたします。
2. お客様が本製品を別のお客様にお譲りになる場合は、必ず、お買い求めいただいた販売店またはＪＡ、もしくは新しく製品をお求めになる販売店またはＪＡにご相談ください。
お客様が別のお客様に直接お譲りになりますと、製品の状態（修理履歴、移設作業の状態）、付属品（取扱説明書等）の有無を把握できないため、製品の安全性や性能について保証できなくなります。

もくじ

ページ

安全標示について	i
重要なお知らせ	ii
保証の限定	iv

ご使用のまえに

安全上の注意事項	1
使用上の注意事項	3
標示ラベルについて	4
各部のなまえ	5
表示部・操作部のなまえとはたらき	6
機械の組立	7
電源の種類と結線	10

運転のしかた

運転前の確認と作業	12
運転のしかた	13
運転の終了	15

お手入れと保管

残留米の取出しと掃除	16
保管	17

点検・調整

金網とスパイラルの着脱方法	18
---------------	----

困ったとき

困ったときの対処のしかた	20
--------------	----

その他

配線図	21
オプション部品	22
消耗部品	23
仕様と機体寸法	24
保証とアフターサービス	25

緊急時の連絡先	巻末
---------	----

ご使用のまえに

運転のしかた

お手入れと保管

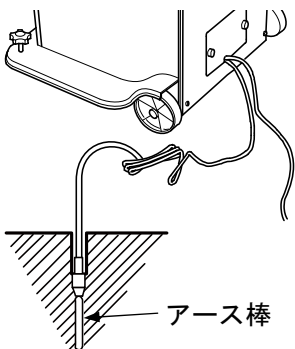
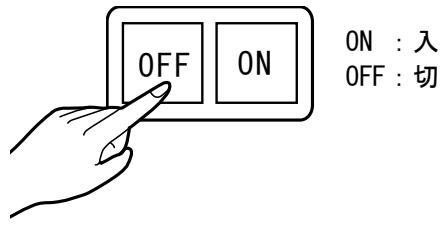
点検・調整

困ったとき

その他

安全上の注意事項



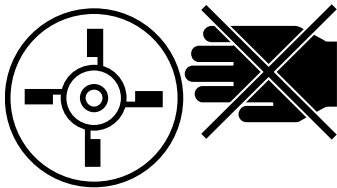
ビニール袋の処分	● 梱包を開梱した後は、機械をおおっているビニール袋で子供が遊ばないように、手の届かない場所に置るか処分してください。
子供を近づけない	● 作業場に、作業に関係ない人は入れないようにしてください。特に子供を遊ばせないように注意してください。
作業に適した服装の着用	● 長い頭髮は束ね、作業に適した袖口のしまった服および底のすべらない靴で作業をしてください。 ● 首や肩にタオルを掛けて作業しないでください。
機械の接地（アース） 	● 漏電による感電や火災防止のため、必ず接地（アース）をしてください。接地（アース）工事については、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
漏電ブレーカの設置	● 漏電事故防止のため、元電源に必ず漏電ブレーカを設置してください。 設置については、電気工事店に依頼してください。
運転開始前に周囲の確認 	● 電源コードなどにつまつかないように、機械周辺の整理整頓をしてください。 ● 元電源を入れる前に、[モータスイッチ] が「切」になっていることを確認してください。「入」になっている場合は、元電源を入れると同時にモータが回転することがあり危険です。 ● 運転は、周囲の安全を確かめてから開始してください。2人以上で作業するときは、お互いに合図を交わしながら行ってください。 ● 機械の上に工具などの物を置いて機械を作動させないでください。
通電部分に触れない	● 元電源を入れた後は、機械内部などの通電部分には絶対に触れないでください。

！ 警 告

カバー類を取り付けて運転

- カバー類はすべて取り付けて運転し、運転中はカバー類を取り外さないでください。
(駆動部でケガをするおそれがあります)

張込ホッパに手を入れない



- 運転中は、張込ホッパに手や棒などを入れないでください。

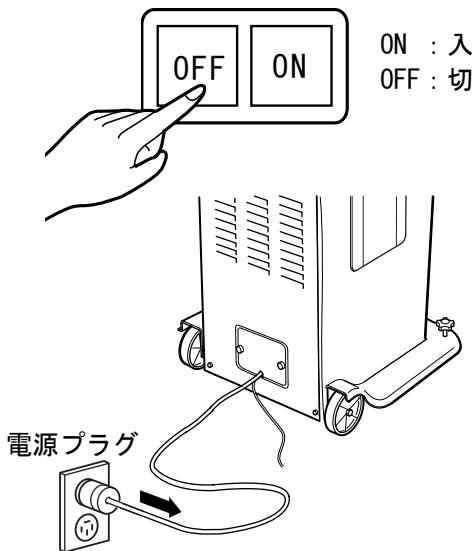
可動部に触れない

- 運転中は、機械の可動部に触れないでください。

運転中は点検をしない

- 運転中は、特に指示する箇所以外は機械の点検および調整を行わないでください。

**掃除・点検・停電時は
電源プラグを抜く**

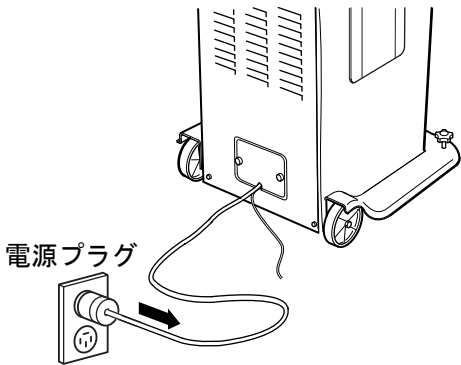
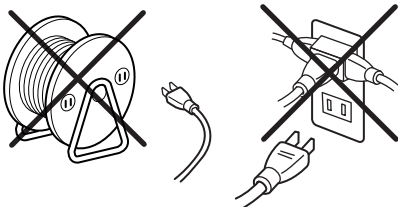


- 各部の掃除、点検や異常・故障時の処置をする場合は、[モータスイッチ] を切り電源プラグを抜き、機械が完全に停止している状態で行ってください。
- 運転中に停電した場合は、[モータスイッチ] を切り、電源プラグを抜いてください。

無理な作業はしない

- 疲労を感じたら無理に作業を続けず、休憩をしてください。

使用上の注意事項

据付場所	● 機械の据付場所は、水平でしっかりとした明るく広い場所にしてください。水平でないと機械の振動発生の原因になります。 ● 機械周辺の作業通路を確保してください。 壁から 50 cm 以上離して据え付けてください。
雷が鳴ったら電源プラグを抜く 	● 落雷のおそれがあるときは、機械保護のため運転を中止し、電源プラグを抜いてください。
タコ足配線をしない 	● コードリールの使用やタコ足配線はしないでください。電圧降下による計量誤差の原因となります。
水を掛けない	● 機械には水を掛けないでください。 水が掛かると電気回路がショートし、機械が故障または損傷するおそれがあります。
機械の運転状態を監視する	● 運転中は、機械の運転状態を監視してください。 もし異常を感じたら、作業を中止し機械の点検を行ってください。
揮発性の高い薬品の使用禁止	● 本機周辺で揮発性の高い薬品を使用・保管しないでください。機械が故障するおそれがあります。
保管時のネズミ侵入対策	● 機械の保管場所は乾燥した平らな所を選び、機械内にネズミが侵入しないように注意してください。

標示ラベルについて

本製品には、特に注意を要する箇所に標示ラベルが貼り付けてあります。
これらの正確な位置および危険防止の内容をよく確認のうえ、理解してください。

1. 標示ラベルの貼付位置

標示ラベルの貼付位置と標示ラベルの内容については、図 1 を参照してください。

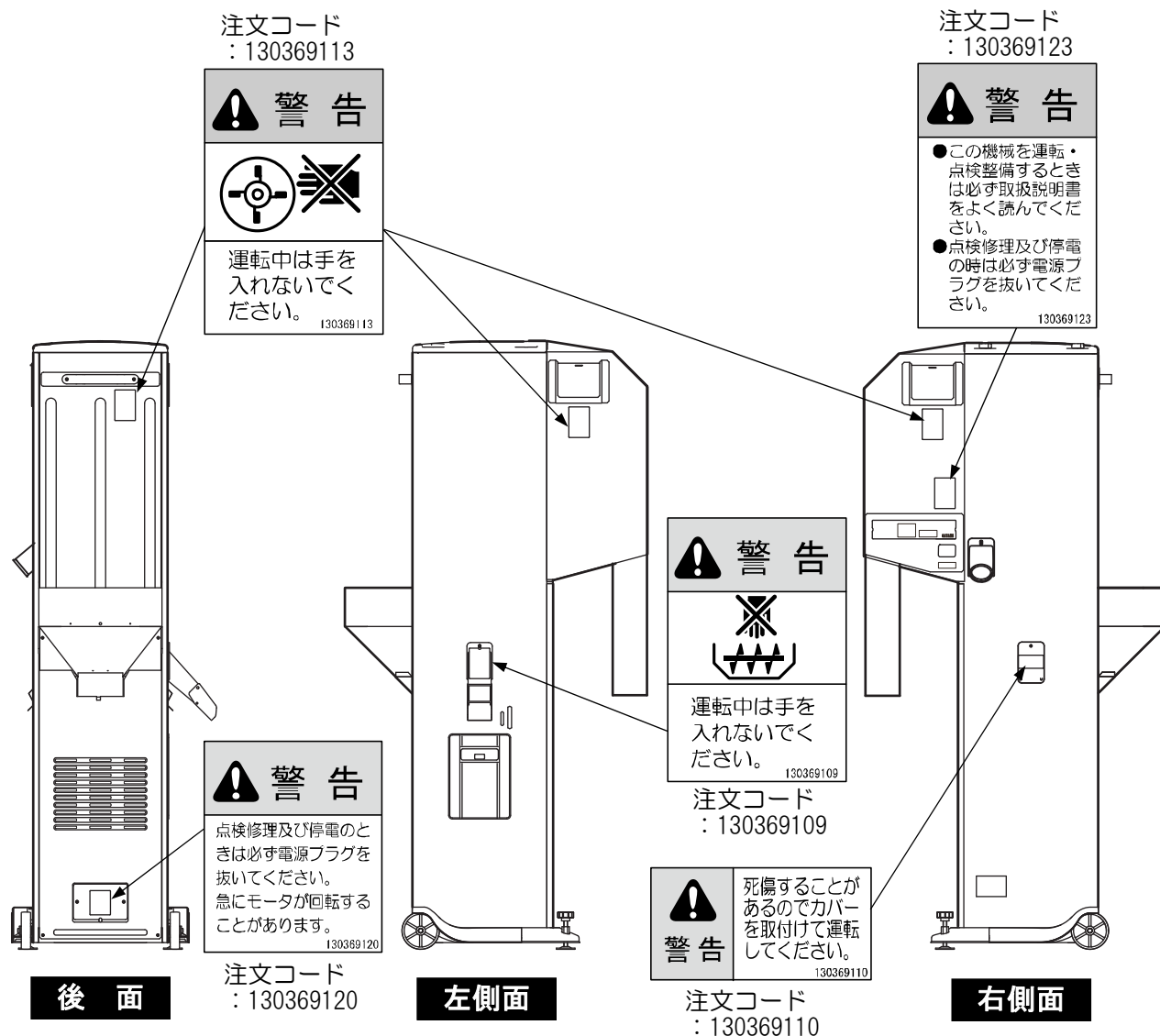


図 1 標示ラベル貼付位置

2. 標示ラベルの取扱い

- 標示ラベルがすべて読めるか確認してください。
汚れなどで文字やイラストが見えない場合、標示ラベルの汚れを落とすか交換してください。
- 標示ラベルの汚れ落としには布、水、洗剤を使用してください。
有機溶剤やガソリンなどを使用しないでください。
- 標示ラベルの損傷、紛失、読めない場合は、標示ラベルを購入して貼り替えてください。
問い合わせ先は、巻末の「緊急時の連絡先」を参照してください。

各部のなまえ

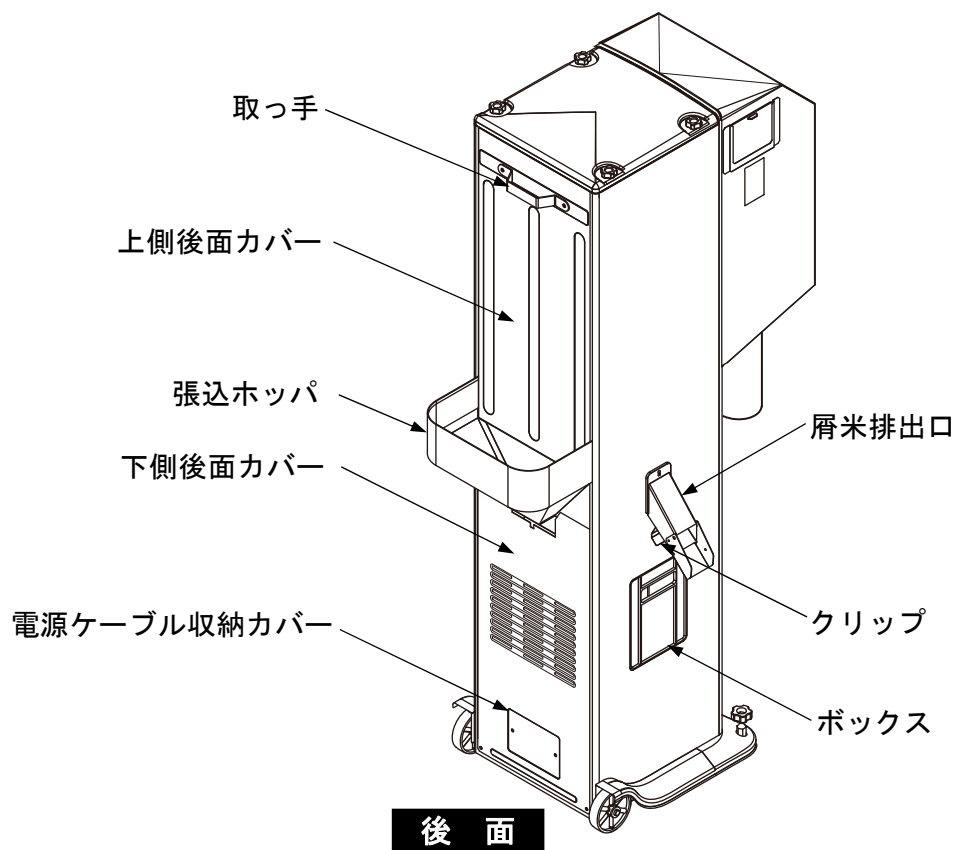
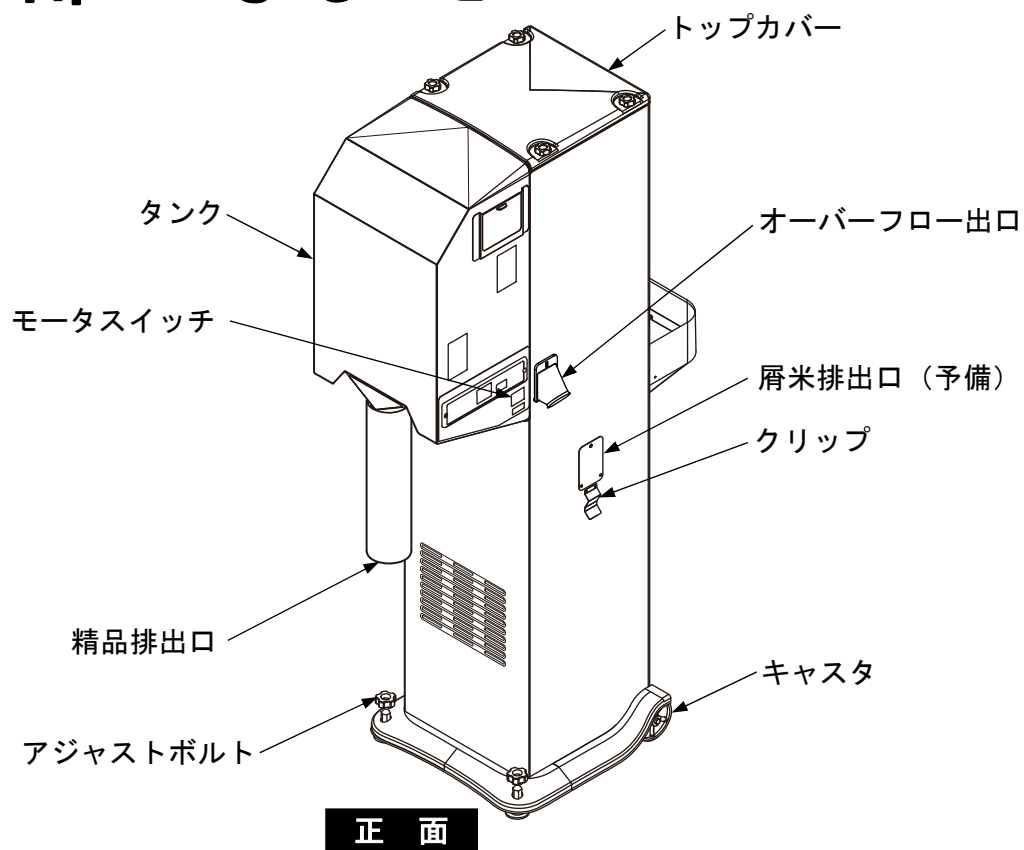


図 2 機械全体図

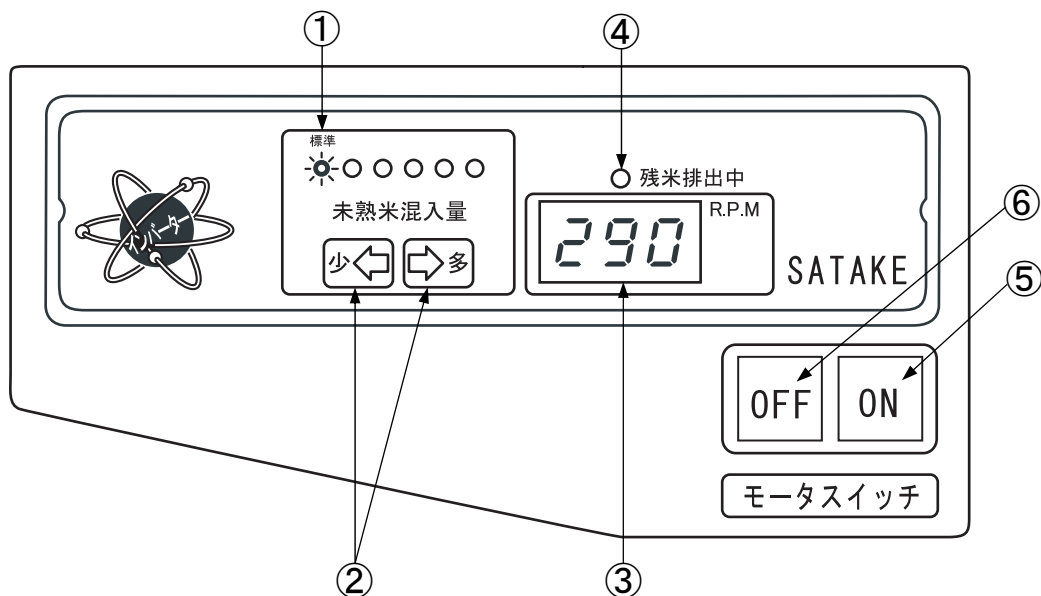
表示部・操作部のなまえとはたらき

1. 操作箇所の説明


警 告

● 本書をよく読み、理解するまでは機械を作動させないでください。

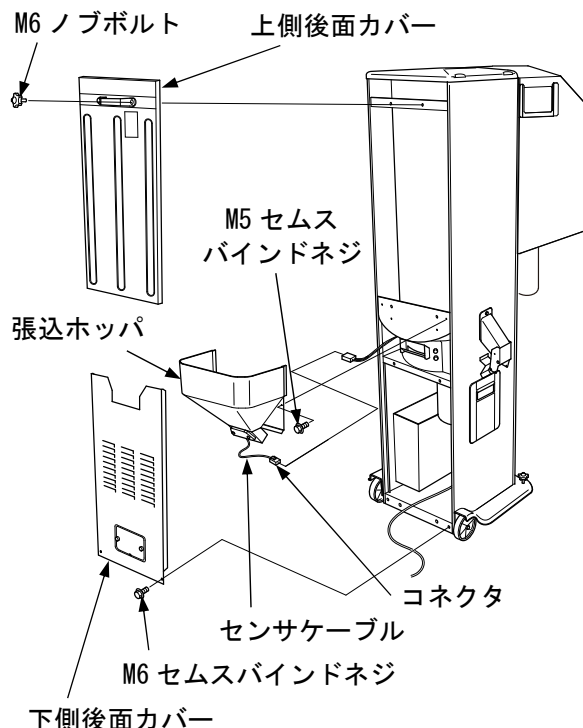
- 操作については、12～15ページを参照してください。



No.	名 称	機 能
①	未熟米混入量表示部	未熟米混入量の設定値を表示します。
②	未熟米混入量設定スイッチ	未熟米混入量を設定できます。 1 回押すごとに 1 つずつ移動します。 この設定は電源コードを抜いても記憶されています。 出荷時は、標準（左端）に設置されています。 未熟米を混合させたい場合は、多い方にセットします。 （右側に動かすほど選別率が低下します）
③	回転数表示部	スパイラルの回転数を表示します。 [未熟米混入量設定スイッチ 少← →多] を押すと回転数が変わります。
④	残米排出表示部	残米の排出中に点灯します。
⑤	モータスイッチ（ON）	押すと金網が作動します。
⑥	モータスイッチ（OFF）	押すと金網が停止します。

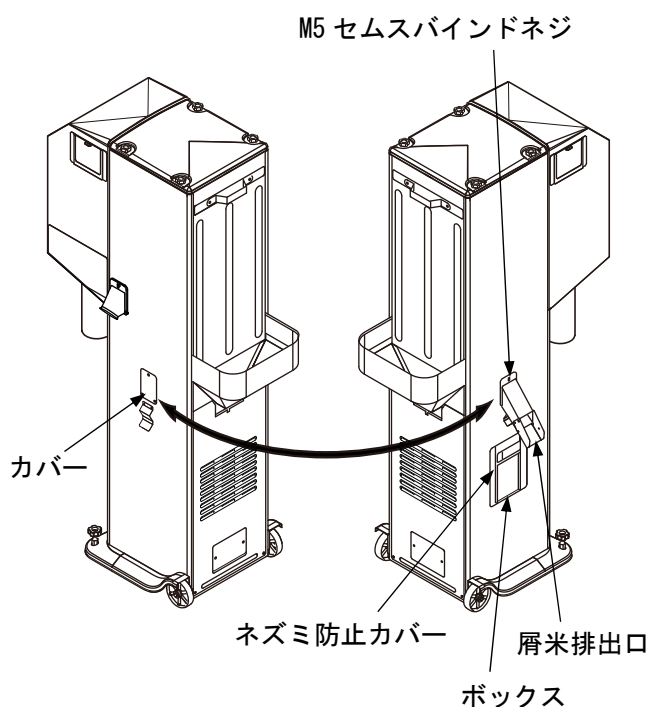
機械の組立

1. ホッパの組付



- 1) 上下の後面カバーを外します。
 - M6 ノブボルト (2 本) および M6 セムスバインドネジ (2 本) を外します。
- 2) 張込ホッパを取り付けます。
 - 本体に付いている M5 セムスバインドネジ (2 本) を外し、張込ホッパを固定します。
- 3) センサケーブルのコネクタを差し込みます。
- 4) 下側後面カバーを取り付けます。
 - M6 セムスバインドネジ (2 本) で固定します。
- 5) 上側後面カバーを取り付けます。
 - M6 ノブボルト (2 本) で固定します。

2. 屑米排出口の組替・ネズミ防止カバーの取外し

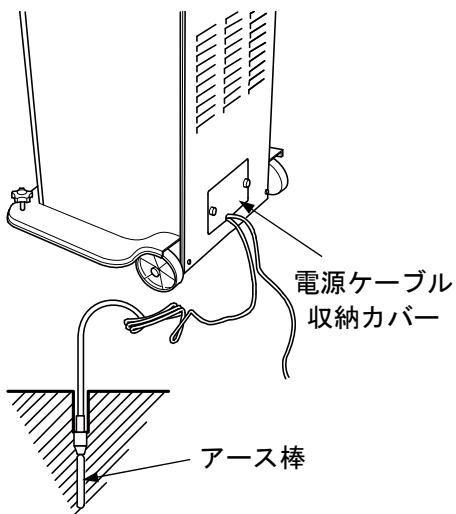


- 1) 作業に適した方向に屑米排出口を取り付けます。
 - 屑米排出口は、左右どちらでも取付可能です。
もみすり機に合わせ、機体を据付後、屑米排出方向が悪い場合は、屑米排出口とカバーを組み替えてください。
 - 組み替えは、M5 セムスバインドネジ (左右各 1 本) を外し、左右入れ替え後、固定してください。
- 2) ボックス内のネズミ防止カバーを取り外します。
 - ネズミ防止カバーは、機械保管時に使用します。

3. 接地（アース）

警告

- 漏電による感電や火災防止、機械の誤動作防止のため、必ず接地（アース）をしてください。
- 接地（アース）工事は、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

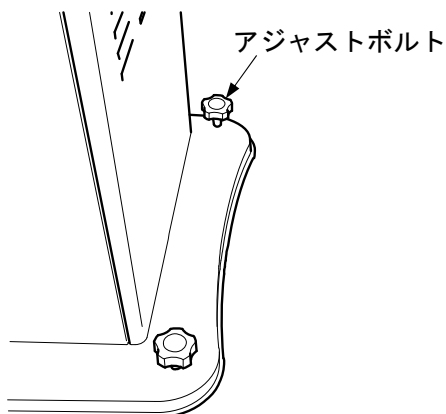


- 1) 本体後面の電源ケーブル収納カバーを外し、アース棒を取り出します。
- 2) 接地抵抗が 100Ω 以下となるよう、アース棒を地中深くに埋設し、接地（アース）します。
- 3) 電源ケーブル収納カバーを取り付けます。

取扱注意

- 電気設備技術基準に基づき、D 種（第 3 種）接地工事を行ってください。

4. 機械の据付



- 1) 機械が揺れないようにアジャストボルトで調整します。
 - 機械の据え付けは、平らでしっかりとした場所に行ってください。
- 2) 機械の周辺や通路は、十分広く取ってください。

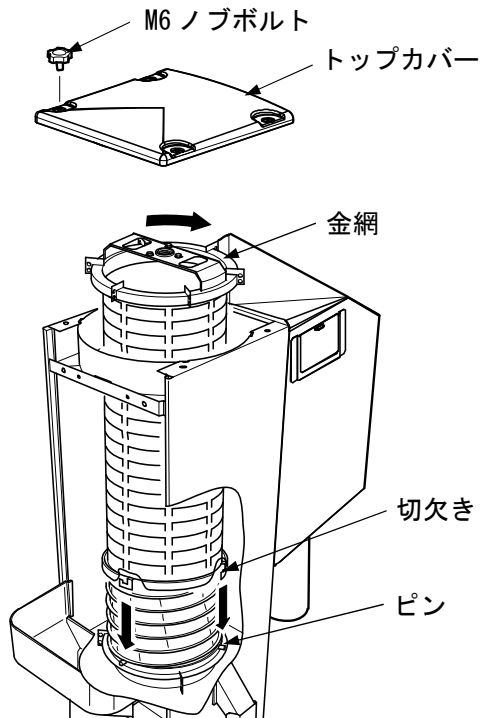
5. 金網の組付

注 意

- 金網の着脱時には、金網の網目などでケガをしないよう注意してください。軍手などの着用をお勧めします。
- 金網の組付時には、脚立等を使用し、まっすぐに取り付けてください。
- 金網の組付時には、確実にアジャストボルトを調整して、機械が揺れないようにしてください。機械が倒れるおそれがあります。（8ページ「機械の据付」参照）

取扱注意

- 金網が正しく入っていないと、トップカバーが取り付けられません。確実に入れてください。



1) トップカバーを外します。

- M6 ノブボルト（4本）を外します。

2) 金網を組み付けます。

- 本体上部から金網を差し込みます。
- 金網を右に回して、金網の切欠きをピンにはめ、組み付けます。

3) トップカバーを取り付けます。

- M6 ノブボルト（4本）で固定します。

電源の種類と結線

1. 電源の種類

表 1 電源の種類一覧表

使用電源	使用モータ	定格電流値
三相 200V	E 種絶縁 0.75 kW : 本機モータ	3.6A (50 Hz) 3.3A (60 Hz)

取扱注意

- 漏電ブレーカは、10A 以上のものを使用してください。
- 電源ケーブルの種類は、2.0 mm² 以上、4 芯のものを使用し、長さは 10m 以内としてください。

漏電ブレーカを取り付ける場合の注意事項

本機の電源ボックスには、インバータが搭載されていますが、インバータ電源は高周波成分を含んでいるため、漏電ブレーカの種類によっては、機械が正常であっても漏電ブレーカが作動する場合があります。

漏電ブレーカを接続する場合は、電気工事店に相談して感度電流 200 mA 以上、動作時間 0.1 秒以上のもの、高周波対策を行ったものを使用してください。

＜高周波対策品の例＞

三菱電機製：NV シリーズ（1988 年以降製造分）

富士電機製：EG、SG シリーズ（1984 年以降製造分）

2. 結線

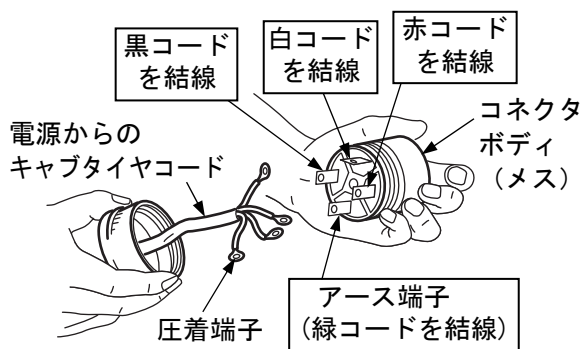
電源からのキャプタイヤコード（電源ケーブル）とコネクタボディ（メス）の結線方法



- 結線を行うときは、必ず電源ケーブルを電源から抜いて行ってください。

取扱注意

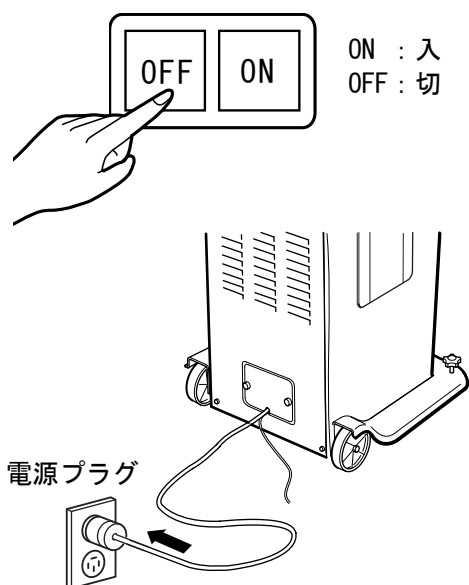
- 電源側（コンセント、ブレーカなど）が接地（アース）されていない場合は、別途、電気工事が必要です。
お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。



アースは $\perp$ の刻印が目印です

- 1) コネクタボディ（メス）に電源からのキャプタイヤコードを結線します。
 - (a) 電源からのキャプタイヤコードの先端に圧着端子をつけます。
 - (b) キャプタイヤコードの先端をコネクタボディ（メス）に確実に結線します。

運転前の確認と作業

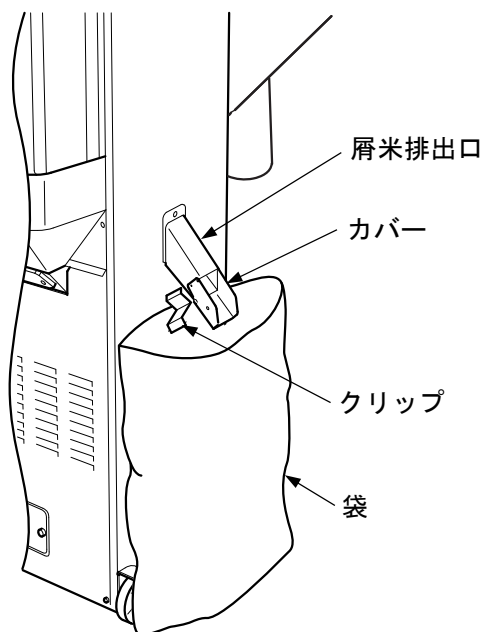


- 1) [モータスイッチ] を「切」にして、電源プラグをコンセントに差し込みます。

取扱注意

- 電圧降下による誤動作の原因になりますので、延長コードの使用やタコ足配線は絶対にしないでください。

運転のしかた

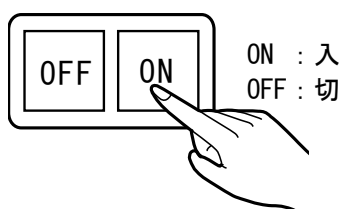


- 2) 屑米排出口に袋などをセットします。
 - カバーを倒し屑米排出口を開いてください。
 - 屑米排出口にはクリップが付いていますので袋の固定ができます。

運転のしかた

警告

- 運転中は、絶対にカバー、張込ホッパ、屑米排出口点検カバー、残留米排出シャッターを取り外したり、指や棒などを入れたりしないでください。
- 運転中に停電した場合、必ず「モータスイッチ」を「切」にしてください。再度電源が復帰した場合、復帰と同時にモータが回り危険です。

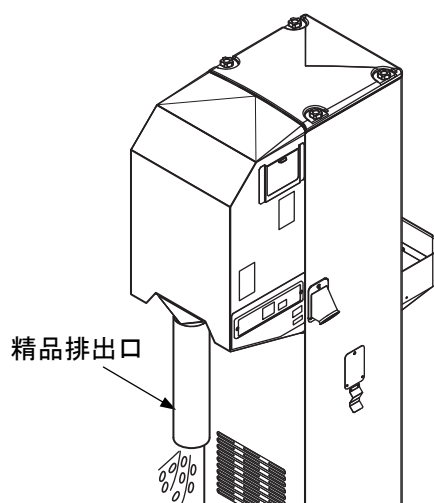
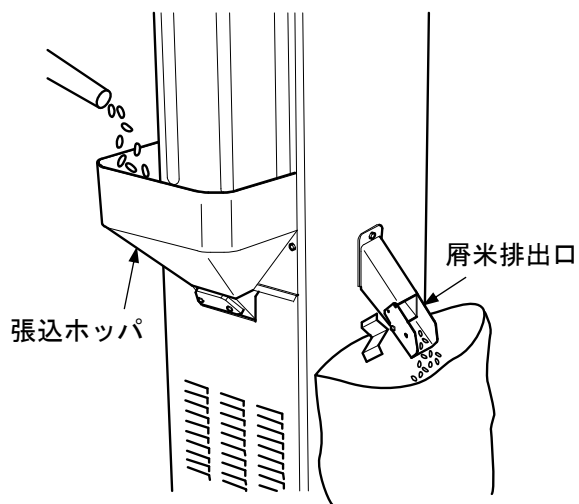


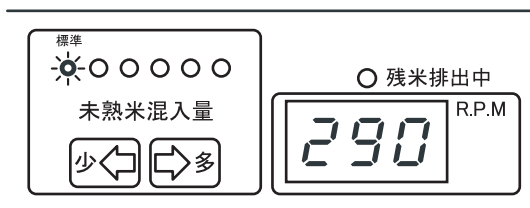
1) 「モータスイッチ」を「入」にします。

- モータが回ります。

2) 張込ホッパに玄米を供給します。

- しばらくすると精品排出口から選別された玄米が排出されます。
- 屑米排出口から屑米が排出されます。
袋などをセットしている場合は、あふれることのないよう点検してください。





3) 未熟米混入量を設定します。

- 最適な選別をしたい場合は、標準の位置で作業を行ってください。
(出荷時は[標準]に設定されています)
- 選別率を下げて精品中の未熟米混入量を増やしたい場合は、[多]スイッチを押してください。

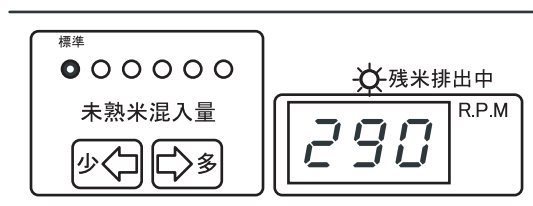
[少]スイッチを押すと元に戻ります。

運
転
の
し
か
た

取扱注意

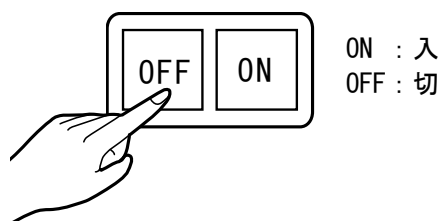
- 最高処理能力以上で使用するとモータが過負荷になり、過負荷停止装置が働いて、モータが停止するので注意してください。

運転の終了



1) 前工程のもみすり機からの原料供給が停止すると「残米排出中ランプ」が点灯し、スパイラル、金網が高速回転して、機内の残米を排出します。(約 40 秒間)

2) 残米排出が終了すると、「残米排出中ランプ」が消灯し、運転時回転数に戻ります。



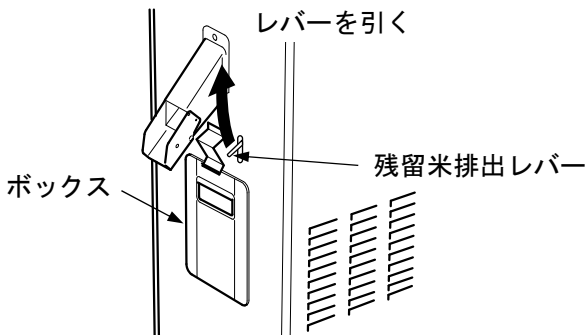
3) 「モータスイッチ」を「切」にします。
● モータが停止します。

残留米の取出しと掃除

取扱注意

- 作業終了後は機内清掃をしてください。害虫の巣作りやモーターの焼損および異品種混入の原因になります。

1. 残留米の排出方法



- 1) [モータスイッチ] を「入」にします。
 - 2) 残留米排出レバーを引いて、残留米を排出します。
- 残留米はボックス内に排出されます。

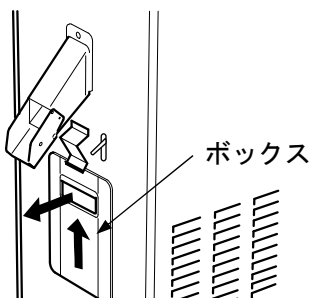
2. ボックス内の掃除

警告

- ボックス内の掃除を行う前には、必ず[モータスイッチ]を「切」にし、電源プラグを抜いてください。

取扱注意

- 品種の異なった米・麦を選別する前後も、必ず残留米の排出とボックス内の掃除および機外の掃除をしてください。

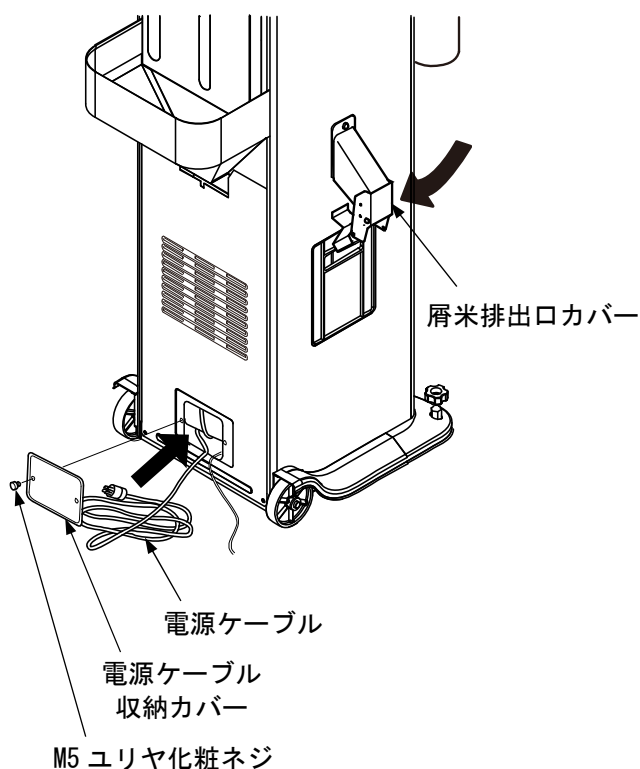


- 1) ボックスを取り外します。
- 2) ボックス内を掃除します。
- 3) ボックスを取り付けます。

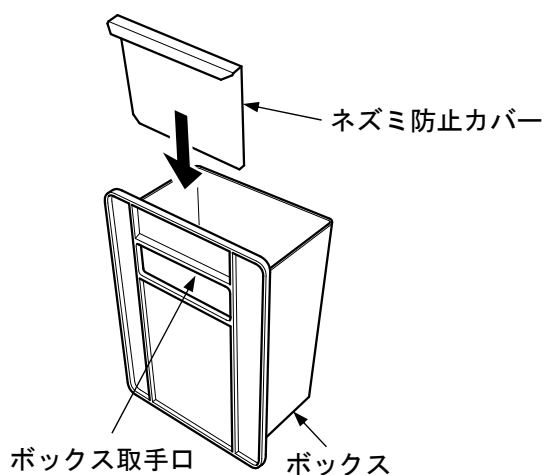
保管

取扱注意

- 作業を終了し、保管する前に、必ず残留米の排出とボックス内の掃除および機外の掃除をしてください。
- できるだけ湿気のない、風通しの良い所に保管してください。



- 1) ネズミが入らないように、屑米排出口カバーを閉めます。
- 2) 電源ケーブルを機内に収めます。
 - M5 ユリヤ化粧ネジ（2 本）を外して機械後面の電源ケーブル収納カバーを外し、内部に収めます。
 - 収納後は元通りに電源ケーブル収納カバーを取り付けます。



- 3) ボックス取手口よりネズミが入らないようにネズミ防止カバーを取り付けます。
 - ネズミ防止カバーを取り付けたら、ボックスは元通りにセットしてください。

金網とスパイラルの着脱方法

警告

- 各部の調整・作業を行う前には、[モータスイッチ]を「切」にし、電源プラグを抜いてください。

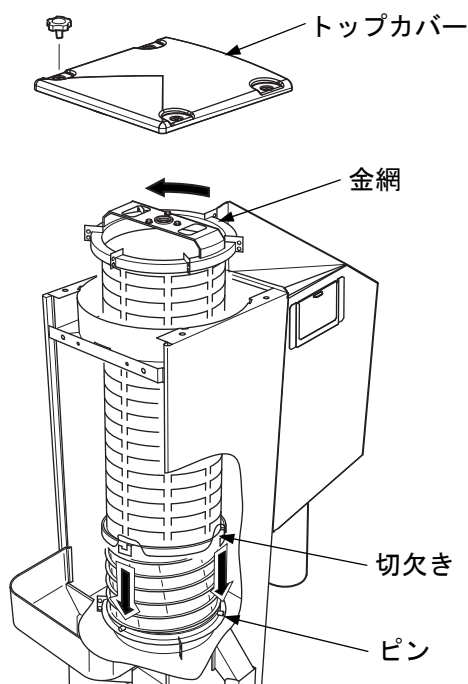
注意

- 金網を交換する際は、転倒事故に注意してください。
- 金網の着脱時には、金網の網目などでケガをしないよう注意してください。軍手などの着用をお勧めします。
- 金網の組付時には、脚立等を使用し、まっすぐに取り付けてください。
- 金網・スパイラルの着脱の際、確実にアジャストボルトを取り付けてください。機械が倒れるおそれがあります。

取扱注意

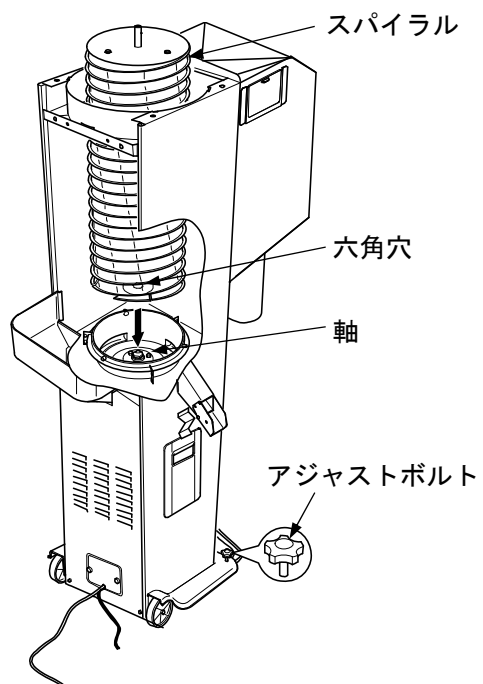
- 金網・スパイラルが正しく入っていないと、トップカバーが取り付けられません。確実に入れてください。

1. 金網の着脱方法



- 1) 金網を軽く左に回しながら持ち上げると外れます。
- 取り付けるときは、金網を右に回して金網の切欠きをピンにはめます。

2. スパイラルの着脱方法



1) スパイラルは上に持ち上げると外れます。

- 取り付けるときは、スパイラル底の六角穴を軸にはめます。

困ったときの対処のしかた

1. 異常・故障の場合の処置方法

警 告

- 異常・故障の処置を行う前に、特に指示するもの以外〔モータスイッチ〕を「切」にし、電源プラグを抜いてください。
- 本書の指示に従ったにもかかわらず、異常・故障が直らない場合はお買い上げの販売店またはＪＡに連絡してください。

症 状	原 因	処 置 方 法
米が肌ズレになる	残留米を排出しないでしばらく運転していた	もみすり機からの供給停止後は、ただちに本機を停止するか、残留米を排出してください。
運転中、突然機械が停止する	過負荷運転になっている	原因を取り除き、適正能力で使用してください。 ● お買い上げの販売店またはＪＡに連絡してください。
機内の残留米量が多い	スクリーンおよびスクリーンベースのシートが摩耗している	摩耗している部品を交換してください。 (23ページ「表 2 消耗部品一覧表」参照)
選別が悪い	ブレードが摩耗している	ブレードを交換してください。 (23ページ「表 2 消耗部品一覧表」参照)
未熟米混入量調整パネルに E01 を表示	インバータ異常 モータ過負荷等に伴うインバータ停止	電源を切り、電源プラグを抜き過負荷原因を取り除いた後、5 秒以上待って電源を再投入してください。 ● 直らない場合は、お買い上げの販売店またはＪＡに連絡して、インバータを交換してください。

配線図

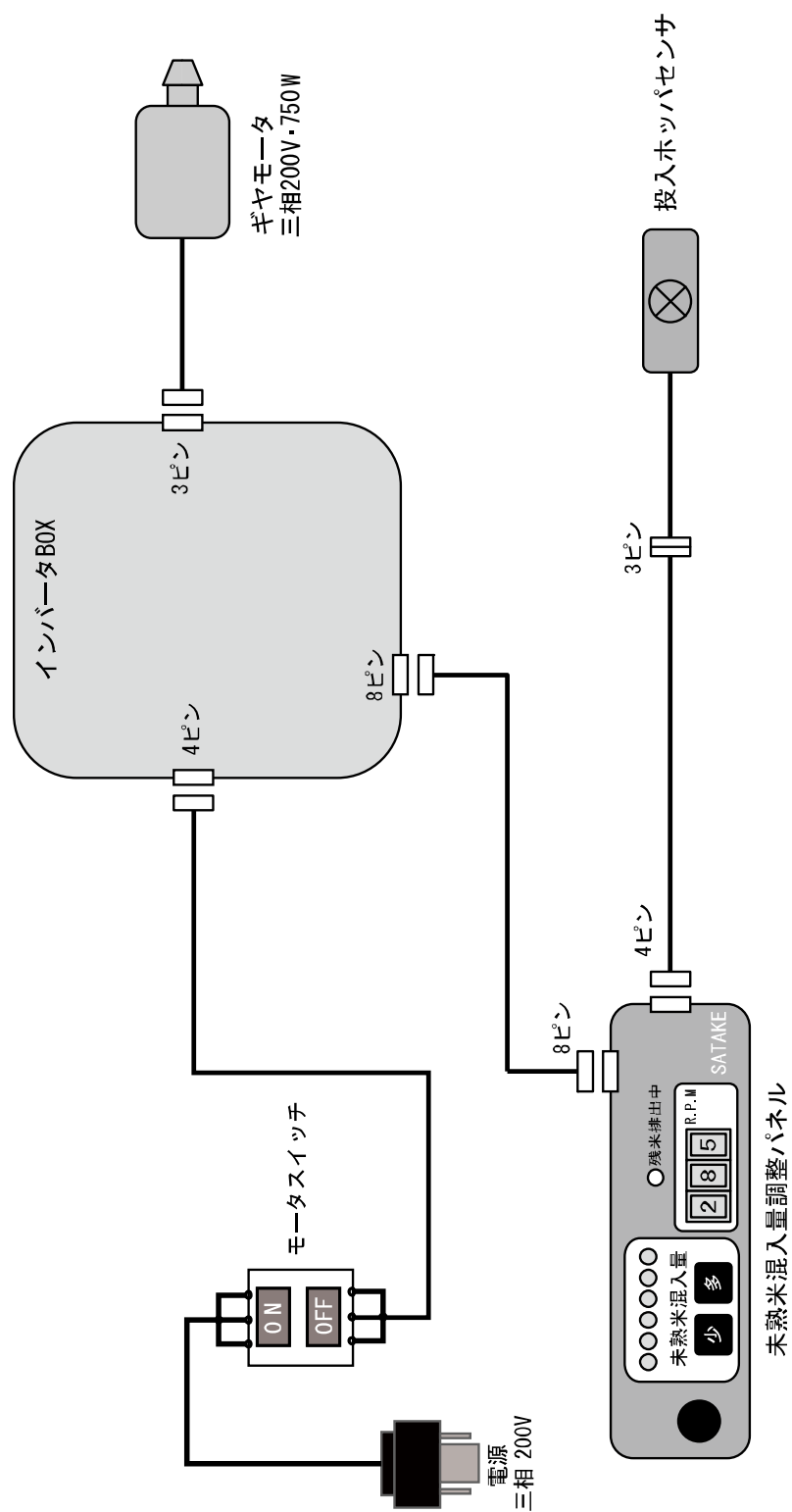


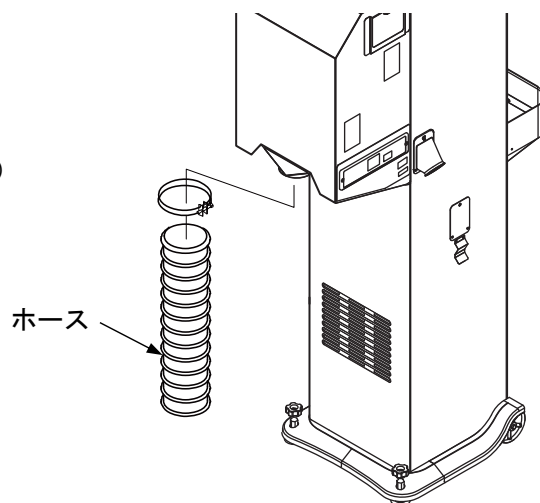
図 3 配線図

オプション部品

■ホース

注文コード：(B)151080260（650 mm）

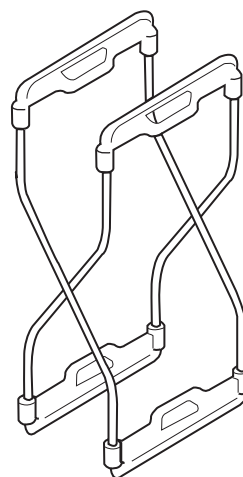
- 後工程と連結する場合に使用します。
（標準で付属されているホースは490 mmです）



■袋保持金具

注文コード：(B)150350020

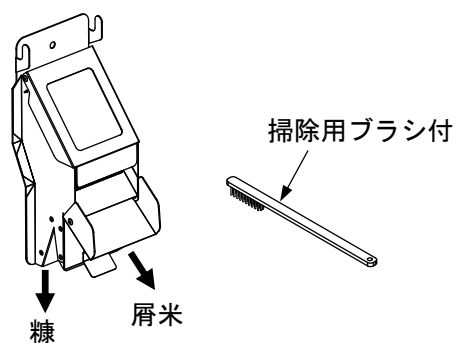
- 袋を立てる場合に使用します。



■糠取装置

注文コード：(1)NPA30BAAZ50

- 屑米中の糠を除去したい場合に使用します。
- 標準の屑米排出口と交換して使用します。



その他

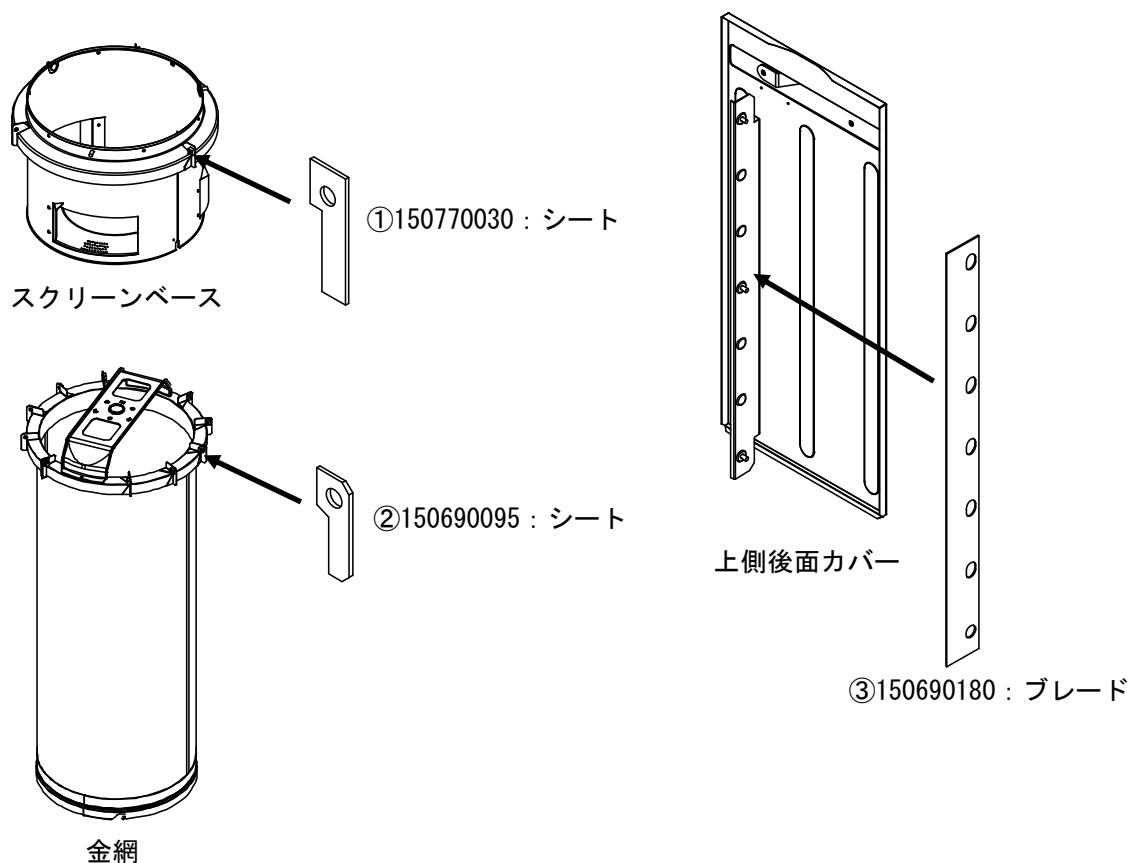
消耗部品

消耗部品は、表 2 を目安に事前に準備されることをお勧めします。

表 2 消耗部品一覧表

	品 名	部品コード	数 量（個／台）	耐久処理量
①	シート	150770030	3	6400 俵（200 時間）
②	シート	150690095	10	6400 俵（200 時間）
③	ブレード	150690180	1	6400 俵（200 時間）

※ 表 2 の消耗部品の耐久処理量は、使用条件等により異なります。



仕様と機体寸法

表 3 仕様一覧表

型 式	NVG45	
区 分	V(5)	
処 理 能 力(kg/h)	600 (10 俵) ~2700 (45 俵)	
定 格 電 圧 (V)	三相 200	
定 格 出 力(kW)	0.75	
金網の種類 (目幅 : mm)	うるち米用	S (1.75)、M (1.80)、L (1.85)、LL (1.90)、GL (1.95)、G (2.00)
	酒米・麦用	G (2.00)、Z (2.05)、A (2.10)、B (2.20)、K (2.30)、D (2.50)
機 体 質 量(kg)	76	
処理可能な原料名と処理方法	玄米・大麦・小麦の選別	

※ 麦選別使用の場合は、処理能力が低下します。

※ 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

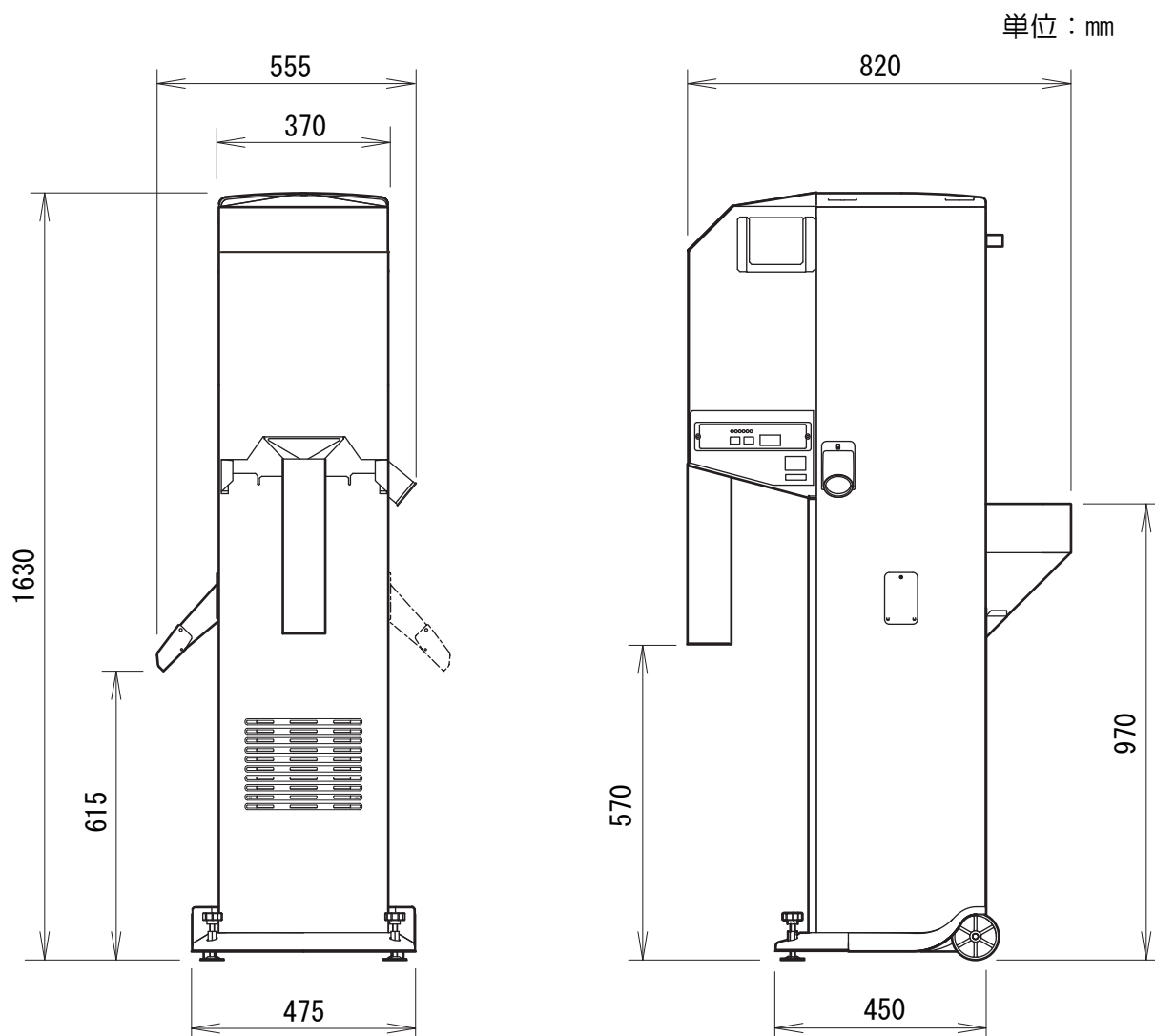


図 4 機体寸法

保証とアフターサービス

取り扱い・修理などのご相談は、お買い上げの販売店またはＪＡまでお申し付けください。

■保証書（別添付）

- 保証書は必ず、「納入日、販売店名・ＪＡ」などの記入をお確かめの上、販売店またはＪＡからお受け取りください。
- 内容をよく確かめた後、大切に保管してください。

保証期間は、納入日から１年間です。

■補修用部品の供給年限

- 本製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後10年とします。
ただし、供給年限内にあっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合があります。
- 補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給の要請あった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

■修理を依頼される時には

- 「困ったときの対処のしかた」（20ページ）に従っても直らない場合は、お買い上げの販売店またはＪＡにご連絡ください。

〔保証期間中は〕

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定に従って修理させていただきます。

〔保証期間が過ぎているときは〕

- 修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。

〔修理料金は〕

- 修理料金＋部品代で構成しています。

緊急時の連絡先

機械が異常な作動をし、原因が不明で適切な処置が行えない場合、または運転操作方法等に不明な点がある場合は、以下の窓口へご連絡ください。

〔１〕販売店・ＪＡ（購入時にお客様にてご記入ください）

店名：
緊急時の連絡先：
担当者：

〔２〕最寄りの営業所

●販売店・ＪＡに連絡がつかない場合は、最寄りの営業所へご連絡ください。

営業所／所在地	TEL（代表）	FAX	〒
北海道営業所／札幌市白石区中央３条３丁目６-４４	011（812）3666	011（820）2007	003-0013
北上営業所／岩手県北上市川岸１丁目１６-１（サタケ東北内）	0197（64）0111	0197（61）0001	024-0032
秋田営業所／秋田市仁井田字中谷地１２１-２	018（839）0891	018（889）6001	010-1423
仙台営業所／宮城県仙台市若林区六丁の目西町７-３３	022（287）2733	022（390）1017	984-0011
小山営業所／栃木県小山市駅南町４丁目３１	0285（27）5060	0285（31）1002	323-0822
柏営業所／千葉県柏市大室１１５３	04（7132）1181	04（7140）8018	277-0813
新潟営業所／新潟市中央区長潟３丁目８-１６	025（287）0177	025（257）1103	950-0932
名古屋営業所／愛知県一宮市赤見１丁目２-２８	0586（73）2177	0586（26）1040	491-0023
北陸営業所／石川県白山市源兵衛町７９３-１	076（277）2085	076（277）8010	924-0052
大阪営業所／大阪府豊中市稲津町２丁目５-１	06（6867）6015	06（6867）6073	561-0854
広島営業所／広島県東広島市西条西本町２５-２９ アソカビル３Ｆ	082（420）8575	082（420）0010	739-0043
松山営業所／愛媛県伊予市市場４８５-１	089（982）6990	089（997）3231	799-3122
福岡営業所／福岡県太宰府市国分１丁目７-１	092（921）6111	092（920）1030	818-0132
熊本営業所／熊本市東区長嶺東２丁目４-７０	096（382）2727	096（386）2007	861-8038

〔３〕製造元 株式会社

広島本社／広島県東広島市西条西本町２-３０ 〒739-8602

●最寄りの営業所に連絡がつかない場合は、以下の窓口へご連絡ください。

■お客様サポートセンター	TEL：082（420）8543	FAX：082（420）0009
■本社営業窓口〔調製機事業本部〕	TEL：082（420）8541	FAX：082（420）0005
■大代表	TEL：082（420）0001	

株式会社 **サタケ**

サタケのホームページ
<https://www.satake-japan.co.jp>

□広島本社／〒739-8602 広島県東広島市西条西本町 2-30 TEL 082(420)0001 (大代表)
□東京本社／〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-7-2 TEL 03(3253)3111 (代表)
□営業拠点／北海道、北上、秋田、仙台、小山、東京、柏、新潟、名古屋、北陸、大阪、
広島、松山、九州、福岡、熊本
□サタケグループ／
株式会社サタケ、サタケ東北株式会社、サタケ豊栄株式会社、
サタケグレインマシナリー株式会社、
SATAKE USA INC.、SATAKE AMERICA LATINA LTDA.、SATAKE EUROPE LTD.、
SATAKE AUSTRALIA PTY. LTD.、SATAKE (THAILAND) CO., LTD.、
SATAKE ASIA CO.,LTD.、SATAKE INDIA ENGINEERING PVT.LTD.、
佐竹機械（蘇州）有限公司、佐竹軟件技術（蘇州）有限公司

Copyright (C) 2026 Satake Corporation. All rights reserved.

I1NVG45VAAE-X2603D-D